



2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月7日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2020年1月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年5月期第2四半期 | 11,237 | 14.4 | 354 | 34.1 | 366 | 33.3 | 122 | 53.8 |
| 2019年5月期第2四半期 | 9,820 | 10.5 | 538 | 43.2 | 550 | 46.5 | 265 | 33.5 |

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 137百万円 (49.9%) 2019年5月期第2四半期 274百万円 (26.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年5月期第2四半期 | 15.76 | |
| 2019年5月期第2四半期 | 32.04 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年5月期第2四半期 | 19,765 | 3,346 | 16.9 | 429.85 |
| 2019年5月期 | 19,862 | 3,351 | 16.9 | 430.47 |

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 3,346百万円 2019年5月期 3,351百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年5月期 | | 0.00 | | 18.31 | 18.31 |
| 2020年5月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年5月期(予想) | | | | 32.65 | 32.65 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 22,705 | 12.7 | 236 | 28.2 | 333 | 33.2 | 847 | 72.4 | 108.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社 (社名 株式会社ヒューマンライフ)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年5月期2Q | 8,396,000 株 | 2019年5月期 | 8,396,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年5月期2Q | 610,258 株 | 2019年5月期 | 610,258 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年5月期2Q | 7,785,742 株 | 2019年5月期2Q | 8,286,195 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

教育・保育については、2020年度の大学入試制度改革の方針転換や幼児教育・保育の無償化などにより、社会的関心が高まっております。また、高齢化社会の継続した進展により、高齢者向けのサービス需要の拡大が続いております。

当社グループにおいては、長期的に発展し、時代の流れと社会の要請に対応するため、積極的な事業領域の拡大を行っており、当社グループを安定的に支える教育サービスにとどまらず“人の一生に関わる「一生支援事業」を展開する企業へ事業の拡大をすすめております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は11,237百万円（前年同期比14.4%増）となり、前年同期に比べ1,417百万円増加しました。営業利益は354百万円（同34.1%減）となり、前年同期に比べ183百万円減少しました。経常利益は366百万円（同33.3%減）となり、前年同期に比べ183百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円（同53.8%減）となり、前年同期に比べ142百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、脳科学に基づく独自の学習法「リーチングメソッド」や新学習指導要領に対応したプログラム等により、少子化の環境の中でも2019年春の集客では生徒数が前年を上回りました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高5,582百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益1,122百万円（同5.8%増）となりました。生徒数（フランチャイズ事業における末端生徒数含む）の増加（同2.9%増、前年同期に比べ773人増加）により、増収増益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、幼児から小学校低学年までを主な対象とするユニバーサルキャンパスで生徒数が増加し増収となりました。国内10校の日本語学校を運営する日本語教育事業では、入管審査厳格化の影響で2019年夏の留学生数が予定数を下回り利益が伸び悩みましたが、2019年秋以降回復しており、下半期は計画通りの学生数となる見込みです。国際人材交流事業では、中国及びミャンマー国内で技能実習生や特定技能での就職を目指す人材に向けた日本語教育を行っており、支払手数料等の費用減少により利益が改善しました。また、キャリア支援事業部においては、2019年11月に人材紹介業を運営している株式会社ヒューマンライフを子会社化し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加（前年同期比24.7%増、前年同期に比べ1,411人増加）により売上高1,689百万円（同36.6%増）となりましたが、各事業における費用増加の影響でセグメント損失169百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業においては、72園の保育園を運営しており、園児数は計画通り推移しております。人件費増と2020年春開園に向けた採用数の拡大による採用費の増加の影響で費用が増加しました。介護事業では出店及び補助金増により、増収増益となりました。介護事業とのシナジー効果を見込んで2019年4月に子会社化した株式会社リッチへのPMIを進めていく中で、内部統制の整備、人件費の見直しを行い費用が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高3,963百万円（前年同期比27.1%増）、セグメント利益2百万円（前年同期は46百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、19,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少しました。流動資産は、4,327百万円となり前連結会計年度末に比べ518百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少570百万円等です。固定資産は15,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加しました。有形固定資産は、10,455百万円（前連結会計年度末に比べ405百万円増加）となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）の減少106百万円、建設仮勘定の増加577百万円等です。無形固定資産は、2,289百万円（前連結会計年度末に比べ112百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少90百万円等です。投資その他の資産は、2,693百万円（前連結会計年度末に比べ127百万円増加）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の増加96百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、16,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ、93百万円減少しました。流動負債は、7,650百万円となり前連結会計年度末に比べ157百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の減少216百万円、未払金の増加275百万円、その他の増加102百万円等です。固定負債は8,768百万円となり、250百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少274百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少19百万円、その他有価証券評価差額金の増加5百万円、退職給付に係る調整累計額の増加6百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から変わらず16.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより2,634百万円となり、前第2四半期連結会計期間末に比べ、11百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益347百万円、減価償却費370百万円、のれん償却額160百万円、未払金の増加218百万円、法人税等の支払額280百万円等が発生しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、1,010百万円の収入（前年同期は823百万円の収入、前年同期に比べ186百万円の収入増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出673百万円、敷金及び保証金の差入による支出102百万円等が発生しました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、818百万円の支出（前年同期は570百万円の支出、前年同期に比べ247百万円の支出増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額216百万円、長期借入れによる収入800百万円、長期借入金の返済による支出1,144百万円、配当金の支払額141百万円が発生しました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、743百万円の支出（前年同期は295百万円の支出、前年同期に比べ448百万円の支出増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期通期（2019年6月1日～2020年5月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2020年5月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,516,560 | 2,946,059 |
| 売掛金 | 617,088 | 661,868 |
| 商品 | 66,440 | 60,766 |
| 貯蔵品 | 15,942 | 16,573 |
| その他 | 665,244 | 684,258 |
| 貸倒引当金 | △35,547 | △42,430 |
| 流動資産合計 | 4,845,728 | 4,327,096 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,271,599 | 5,165,102 |
| 土地 | 2,780,657 | 2,779,904 |
| リース資産(純額) | 1,653,802 | 1,622,769 |
| 建設仮勘定 | 324 | 577,388 |
| その他(純額) | 343,756 | 310,029 |
| 有形固定資産合計 | 10,050,139 | 10,455,193 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,134,464 | 2,043,548 |
| その他 | 266,913 | 245,792 |
| 無形固定資産合計 | 2,401,377 | 2,289,340 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 145,701 | 153,263 |
| 繰延税金資産 | 830,013 | 851,463 |
| 敷金及び保証金 | 1,411,909 | 1,508,693 |
| その他 | 179,984 | 181,724 |
| 貸倒引当金 | △1,872 | △1,721 |
| 投資その他の資産合計 | 2,565,735 | 2,693,423 |
| 固定資産合計 | 15,017,253 | 15,437,958 |
| 資産合計 | 19,862,981 | 19,765,055 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 81,188 | 85,112 |
| 短期借入金 | 3,000,000 | 2,783,940 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,356,569 | 1,345,917 |
| リース債務 | 72,833 | 74,550 |
| 未払金 | 574,543 | 850,317 |
| 未払法人税等 | 336,495 | 337,470 |
| 前受金 | 1,012,301 | 998,735 |
| 賞与引当金 | 114,519 | 123,810 |
| 資産除去債務 | 4,540 | 8,509 |
| その他 | 939,739 | 1,041,896 |
| 流動負債合計 | 7,492,732 | 7,650,260 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,561,010 | 4,286,600 |
| リース債務 | 1,777,869 | 1,755,151 |
| 退職給付に係る負債 | 1,690,964 | 1,752,192 |
| 役員退職慰労引当金 | 200,384 | 210,232 |
| 資産除去債務 | 243,031 | 242,294 |
| 繰延税金負債 | 463,193 | 429,392 |
| その他 | 82,231 | 92,236 |
| 固定負債合計 | 9,018,687 | 8,768,101 |
| 負債合計 | 16,511,420 | 16,418,361 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 327,893 | 327,893 |
| 資本剰余金 | 263,954 | 263,954 |
| 利益剰余金 | 3,447,122 | 3,427,248 |
| 自己株式 | △695,920 | △695,920 |
| 株主資本合計 | 3,343,049 | 3,323,175 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 30,029 | 35,490 |
| 為替換算調整勘定 | 50,505 | 53,517 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △72,024 | △65,489 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,511 | 23,517 |
| 純資産合計 | 3,351,560 | 3,346,693 |
| 負債純資産合計 | 19,862,981 | 19,765,055 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 9,820,223 | 11,237,833 |
| 売上原価 | 7,442,675 | 8,687,712 |
| 売上総利益 | 2,377,548 | 2,550,120 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,839,131 | 2,195,142 |
| 営業利益 | 538,416 | 354,978 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 408 | 917 |
| 受取配当金 | 1,735 | 1,794 |
| 為替差益 | 4,622 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 479 |
| 補助金収入 | 53,165 | 65,001 |
| 雑収入 | 14,311 | 18,755 |
| 営業外収益合計 | 74,244 | 86,948 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 60,075 | 64,763 |
| 為替差損 | — | 8,668 |
| 貸倒引当金繰入額 | 122 | — |
| 持分法による投資損失 | 209 | 1,333 |
| 雑損失 | 1,842 | 269 |
| 営業外費用合計 | 62,250 | 75,033 |
| 経常利益 | 550,411 | 366,893 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 189 |
| 特別利益合計 | — | 189 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 13,599 | 12,432 |
| 固定資産除却損 | 0 | 55 |
| 投資有価証券評価損 | 5,189 | — |
| 訴訟関連損失 | — | 7,000 |
| 特別損失合計 | 18,788 | 19,488 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 531,622 | 347,594 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 321,240 | 285,365 |
| 法人税等調整額 | △55,140 | △60,453 |
| 法人税等合計 | 266,100 | 224,911 |
| 四半期純利益 | 265,522 | 122,683 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 265,522 | 122,683 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 265,522 | 122,683 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △52 | 5,460 |
| 為替換算調整勘定 | 6,206 | 2,910 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,706 | 6,534 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △520 | 101 |
| その他の包括利益合計 | 9,338 | 15,006 |
| 四半期包括利益 | 274,861 | 137,689 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 274,861 | 137,689 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 531,622 | 347,594 |
| 減価償却費 | 290,591 | 370,994 |
| 減損損失 | 13,599 | 12,432 |
| のれん償却額 | 111,639 | 160,210 |
| 長期前払費用償却額 | 10,266 | 11,765 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 48,633 | 70,628 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 9,287 | 9,847 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 7,184 | 8,778 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 5,559 | 6,684 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,144 | △2,711 |
| 支払利息 | 60,075 | 64,763 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 5,189 | — |
| 固定資産除却損 | 0 | 55 |
| 補助金収入 | △53,165 | △65,001 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 209 | 1,333 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △55,481 | △42,917 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 2,362 | 5,008 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 69,076 | △1,585 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △668 | 9,140 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △40,518 | 44,179 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 28,981 | 218,803 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 100,787 | 65,171 |
| その他 | △71,607 | 33,533 |
| 小計 | 1,071,480 | 1,328,708 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,772 | 2,673 |
| 利息の支払額 | △60,309 | △64,727 |
| 法人税等の支払額 | △216,011 | △280,249 |
| 補助金の受取額 | 26,609 | 23,671 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 823,541 | 1,010,076 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日) |
|-----------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △26,400 | △26,400 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 37,265 |
| 有価証券の取得による支出 | △39,999 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △290,161 | △673,418 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △25,213 | △20,886 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △22,013 | △102,778 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 5,179 | 2,632 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △160,735 | △6,942 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △11,061 | △30,205 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △2,940 | △1,600 |
| その他 | 2,984 | 4,110 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △570,361 | △818,222 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △400,000 | △216,060 |
| 長期借入れによる収入 | 1,260,000 | 800,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △628,091 | △1,144,853 |
| リース債務の返済による支出 | △31,055 | △40,887 |
| 自己株式の取得による支出 | △418,555 | — |
| 配当金の支払額 | △77,319 | △141,851 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △295,021 | △743,652 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,105 | △7,410 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △40,735 | △559,209 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,663,008 | 3,193,445 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,622,273 | 2,634,236 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 学習塾事業 | 語学関連事業 | 保育・介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,464,391 | 1,236,723 | 3,119,108 | 9,820,223 | — | 9,820,223 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,464,391 | 1,236,723 | 3,119,108 | 9,820,223 | — | 9,820,223 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,060,774 | △6,913 | 46,920 | 1,100,781 | △562,364 | 538,416 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△562,364千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△599,520千円及びその他の調整額37,156千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| | 学習塾事業 | 語学関連事業 | 保育・介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,582,837 | 1,689,667 | 3,963,406 | 11,235,912 | 1,920 | 11,237,833 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,582,837 | 1,689,667 | 3,963,406 | 11,235,912 | 1,920 | 11,237,833 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,122,221 | △169,401 | 2,479 | 955,300 | △600,322 | 354,978 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△600,322千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△654,518千円及びその他の調整額54,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年3月1日付にて行った組織変更に伴い、前連結会計年度より調整額に含まれていた「株式会社アルファビート」を「語学関連事業」セグメントに含めて開示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。